

豊かな自然と最先端のエネルギーを共生させ、

子どもたちに笑顔の未来を託せるように――

いま、夢の風が吹きはじめています。



I love
Rokkasho

2016 六ヶ所村勢要覧

発行/六ヶ所村
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字野附475番地
TEL. 0175-72-2111 (代)
ホームページ <http://www.rokkasho.jp>
編集/六ヶ所村 企画調整課

発行 2016年3月 (第1版)

2016 六ヶ所村勢要覧

ROKKASHO

六ヶ所村へようこそ。

先人から受け継いだ伝統と文化、豊かで美しい自然、
雄大な自然を活用した最先端のエネルギー技術が、この地にあります。
ここに住む子どもたちの笑顔は、明るい未来に輝いています。

観 光 SIGHTSEEING	3
観光・物産	4
祭り・イベント	10
エネルギー	12
自 然	16
歴史・伝統・文化	18
観光マップ・交通アクセス・分譲案内	22
産 業 INDUSTRY	25
農業・畜産	26
漁 業	27
商工業	28
暮らし LIVING	29
教 育	30
健康・福祉	31
安 全	32
行政・議会	33
資料編	34
村長ごあいさつ	38



観 光

湖沼群、希少な動植物などの豊かな自然と、
歴史・伝統を重んじた祭り、イベント。
最先端のエネルギー関連施設や温泉施設。
村人とふれあいながら、心豊かな時間をお過ごしください。
素朴な村ですが、ここには夢があります。
わたしたちは、この村が好きです。



I love
Rokkasho



観光

Sightseeing
Products

海と大地の恵みに注がれる、作り手たちの工夫と愛情。
栄養満点の素材を存分に味わえる、心込めた特産品の数々。

物産



スパハウス ろっかぽっか (P22/B-5)

露天風呂はもちろんのこと、和室付貸切風呂やきつぷるなどアイデアいっぱいのおもしろいお風呂が大集合。泉質はナトリウム・カルシウム-塩化物泉（低張性弱アルカリ性高温泉）で疲れた身体を癒せます。お風呂上がりには、無料休憩所やカラオケ、レストラン、マッサージなど家族みんなが、まるまる一日楽しめる日帰り温泉施設です。

住所／青森県上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内337 TEL.0175-69-1126 FAX.0175-69-1131
営業時間／午前10時～午後9時(入浴締切午後8時30分) Web <http://www.roccapocca.com/>



ショッピングモール REEV(リーブ) (P22/C-4)

リーブのテナントの一つ「マエダストア」の一角には、六ヶ所産の農産物コーナーが設置されています。このほか、買い物客の休憩コーナーや子どもたちが遊べるスペース、エネルギーについて学べる広報スペースなどがあります。

住所／青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字野附1-68
TEL.0175-72-3061 FAX.0175-72-3692
営業時間／午前10時～午後8時(マエダストアは午後9時まで営業)



六趣醸造工房 (P22/B-5)

製造・販売元：六趣醸造工房 六ヶ所地域振興開発株式会社

青森県は日本一の長いも生産地です。「日本一の長いもだからきつとうまい焼酎ができる」その想いから研究を重ね、自然豊かな六ヶ所産の長いもを原料に、本格長いも焼酎「六趣」が生まれました。

住所／青森県上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内337-3
TEL.0175-71-3335 FAX.0175-71-3336
営業時間／午前10時～午後3時 Web <http://rokushu.com/>



こだわりの特産品



イカやサケの珍味を頬張ったら、「六趣」をぐっとそそぎ込む口の中に広がる深い味わいが、至福のひとときを演出します

新鮮なイカを船上で醤油漬けにした「いか沖漬」や、甘く濃厚な味で評判の高い泊産の「塩ウニ」などの水産加工品、六ヶ所産長いもを使った「とろろ饅頭」、ウニや昆布を使った「うに・こんぶようかん」などのお菓子をご賞味ください。

「長いも」や「小川原湖牛」は、お好みの味付けでどうぞ。



六ヶ所の食材を、六ヶ所で食す

地元食材を使ったお料理をいくつか紹介します



▲六ヶ所産を含む青森県産食材を使った「あおり彩り弁当」は事前予約必要
◀イカ天、六ヶ所産の野菜をたくさん使ったサクサクのかき揚げなど、ボリュームに圧倒される「びっくり仰天丼」/『スパハウスろっかぽっか』六ヶ所村鷹架字内子内337 TEL.0175-69-1126 Web <http://www.roccapocca.com/>

▶サケ、イクラ、昆布などの海の幸、長いも・ゴボウなどの山の幸をふんだんに使った「おぶちの牧弁当」。「奥の牧」「野がい」「あら野」の3種類がある。事前予約必要/『だるまや』六ヶ所村尾駁字家ノ前4-34 TEL.0175-72-2477



▲10月に開かれるそばまつりでは“挽きたて、打ちたて、茹でたて”の香り高いそばが味わえる。村のイベント「たのしむべ!フェスティバル」、「ろっかしよ産業まつり」で食べられるほか、『スパハウスろっかぽっか』ではそば打ち体験のプランもある/戸鎖そば



▲イクラ丼



▲イカのナポリタン(手前)、タラコの Pasta(右奥)、プリのエスカベシュ(左奥)。泊沖で獲れた魚介類を使った料理が魅力。ウニやカニのPastaなど、季節限定のメニューもある/『ラ・ベスカ』六ヶ所村泊川原75-729 TEL.0175-77-3455



▲イカ生干し焼き



▲鮭汁

11月に開かれる「ろっかしよ産業まつり」の販売ブースでは、イクラ丼やイカ生干し焼き、長いも・きんぴらコロッケ、めっぼうどんなどの村特産品を使った料理の数々が並ぶ。まつり限定の鮭汁などもあるので、食べ歩きするのも楽しい/ろっかしよ産業まつり

こだわりの特産品



北の大地にそよぐ風が、絶妙な風味を添える
海、山、大地の恵みに、愛情をたくさん込めて

良質な水、豊かな土壌が深い味わいをつくります。
晩酌に、ごはんのお供に、ブレイクタイムに、ぜひお召し上がりください。
心込めた手づくりの、優しい味を楽しんで。



特産品は、六ヶ所原燃PRセンター(写真)(P22/B-4)、ショッピングセンターREEV(リーブ)(P22/C-4)や各商店などで購入できます。



うに

泊産粒うにを使用した濃厚な味わいの逸品です。

問い合わせ先/泊漁業協同組合
TEL.0175-77-3121 FAX.0175-77-3050

長いも

長いもには、でんぷん・タンパク質・ミネラル・ビタミンCなどが多く含まれ、滋養強壮に効果があります。

問い合わせ先/JAゆうき青森六ヶ所支所
TEL.0175-75-2001 FAX.0175-75-3155

ななくら秋冬にんじんジュース

秋から冬へと季節が移り変わる頃に収穫された甘いにんじんを使った100%のジュースです。「え?コレかにんじん?」と思うほどのフルーティな味わいを楽しんでください。

問い合わせ先/有限会社マルヨシ
TEL.0175-75-2526

おさしみスモーク

ひらめを低温でじっくりと燻煙することによってひらめの持つ菌ごたえも残りました。

問い合わせ先/泊漁業協同組合泊水産物加工協議会
TEL.0175-77-3121 FAX.0175-77-3050

六趣せんべい

六ヶ所産長いもを生地に練りこんだせんべい。観光名所を図柄にほどした六ヶ所村ならではの商品です。

問い合わせ先/六趣醸造工房
TEL.0175-71-3335

うぼ玉

あん玉に、らくがんとまぶした生菓。上品な甘さでここだけでしか味わえない逸品です。

問い合わせ先/及川玉泉堂
TEL.0175-77-2168 FAX.0175-77-2168

いか沖漬

生きた真いかを船上で独自の製法により一杯一杯丹念に手作り加工してあります。

問い合わせ先/泊漁業協同組合
TEL.0175-77-3121 FAX.0175-77-3050

いくら、塩うに

甘くて濃厚な味で評判の高い泊産のウニを甘塩で、獲れたて新鮮なイクラをしょうゆで味付けした味わい深い逸品です。

問い合わせ先/松本乾物店
TEL.0175-77-2174

浜おどり(鮭トバ)などの海鮮珍味

浜おどり(鮭トバ)、さきいか、のしいか、小女子佃煮など、素材の風味を生かしたシンプルで味付けが人気。六趣などのお酒との相性も抜群です。

問い合わせ先/目代海産
TEL.0175-77-2150

ブルーベリー&いちご ジャム・ソース・ジュース

自家栽培のかけはしの畑で収穫されたブルーベリーといちごでジャムやソース・ジュースを作りました。小さな果実に真心をこめておいしさをお届けします。

問い合わせ先/社会福祉法人松緑福祉会
障害者支援施設 かけはし寮
工房フエンテ TEL.0175-72-4880

めっぼうどん、しぼりしをから など

「めっぼう」という海藻をねりこんだ「めっぼうどん」、ごぼうの風味豊かな「ごんぼほうどん」のほか、生干しのイカで作った「しぼりしをから」、鮭を甘酢でダイコンなどと合わせた「鮭なます」、「長芋千枚漬」など、泊漁港の「おっかあ」(おっかあさん)たちの味をご賞味ください。

問い合わせ先/ろっかしよ村おこし和(なごみ)の工房
TEL.0175-77-3016

小川原湖牛

小川原湖牛は、六ヶ所村第5庄内地区などの自然豊かな牧場で、適正な飼料管理のもと生産者から愛情を注がれ育成・肥育されたブランド牛。柔らかい肉質が特徴です。(産直通年)

問い合わせ先/(農)岡山牧場
TEL.0175-68-2311
FAX.0175-68-2222

六趣(本格長いも焼酎)

商品はレギュラー(20度)のほか、3年もの「スペシャル」(35度)、5年寝かせた「六趣5年」(30度)の3種類。どれもすっきりとした味わいで、スペシャルはまるやかで甘く、六趣5年は豪快な口当たりとほのかな甘みが魅力。

問い合わせ先/六趣醸造工房(P5)
TEL.0175-71-3335 FAX.0175-71-3336

うにようかん、ごま六 など

香りの良い昆布粉を使った「こんぶようかん」、風味豊かな泊産ウニの「うにようかん」はほのかな磯の香りが好評。「ブルーベリーチーズろ〜る」は県内産のブルーベリー、「ごま六」は青森米つがるロマン、「とろろ饅頭」は六ヶ所村産長芋を練り込んだ白あんを使用しています。六ヶ所や青森県の味を堪能できる人気のスイーツです。

問い合わせ先/遠田秋月堂
TEL.0175-77-2321
Web <http://www.syuge2.com/>

六景楽市(ろっけいらくいち)とは…?
六ヶ所村、三沢市、野辺地町、東北町、東通村、横浜町の6市町村による地域ブランドです。私たちの地域の恵みを、安心して味のこだわりを持ってお届けします。

Web <http://rokkei.jp/> facebook #六景楽市

○たのしみべ!フェスティバル(花火とレーザー光線と音楽の競演)

祭り Festivals Events イベント

四季を楽しみ、自然を敬い、まつりに心躍らせる——。
喜びと感動を共有し、深まる絆、広がる交流の輪と、和。



▲たのしみべ!フェスティバル



▲ろっかしよ産業まつり
「牛肉バーベキュー」



▲異文化交流フェア



▲泊例大祭



▲戸鎖新そばまつり



▲村民文化祭

地元の伝統的な行事だけでなく、国内外の人々が繰り広げる国際色豊かなイベントも多く開かれています。村全体で盛り上がる祭りや住民同士の交流を深めるイベントもあり、毎年たくさんの来場者で賑わっています。

たのしみべ!フェスティバル(5月第二土・日曜日)

県南で春一番に打ち上げられる花火をはじめ、キャラクターショーや、タレントによるステージショーなど、大人も子どもも楽しめる様々なイベントが催され、県内各地から訪れる人で賑わいます。

泊例大祭(7月18~20日)

三日間にわたって行われる貴宝山神社と諏訪神社による合同の祭り。神輿や山車が町内を練り歩く「神輿渡御」や、漁師たちによる「海上安全・大漁祈願祭」などが行われます。「港祭り」では出店が並び、会場では獲れたてのウニが調理されるなど、港の伝統と風情を存分に味わうことができる祭りです。

戸鎖新そばまつり(10月最終日曜日)

新そばの季節に開かれる地域住民手づくりのそばまつり。茅葺屋根の水車小屋が建つどかな農村風景を眺めながら、「そばの三立て」(挽きたて、打ちたて、茹

でたて)の香り高いそばが味わえます。

村民文化祭(10月下旬~11月上旬)

芸術の秋に行われる一大文化祭。ダンス、演奏、文化教室など、この日に向けて1年間切磋琢磨してきただけあって、披露する方も鑑賞する方も真剣です。

ろっかしよ産業まつり(11月第一土・日曜日)

豊かな収穫と豊漁に感謝して秋に催されます。農海産物の販売やバーベキュー、活きのよい鮭を素手で捕まえるイベントなどで大いに盛り上がります。

異文化交流フェア(開催時期未定)

国際色豊かな村を象徴するイベントで、村内在住の外国人が国別のブースで自国の文化や料理を紹介します。来場者が各国のブースで、それぞれの言語でのあいさつや会話、試食を楽しむほか、ステージショーなどに参加できるなど、一度にいろんな国を旅した気分になれる人気のイベントです。





エネルギー

過去・現在・未来のエネルギーを体感し、自然との共生をイメージ。
豊かな自然を受け継ぐために、次代を担う子どもたちへ学びの場を提供する。



東北大学出前授業／東北大学大学院工学部工学研究科の協力により、村内の小・中学校でエネルギーや科学についての出前授業を実施しています



ウィンドファーム(大規模風力発電施設)



ウィンドデイ/風車の頂上にある「ナセルの構造」を学ぶ子どもたち



発電状況モニター/太陽光・風力の発電量やCO2削減量などがチェックできるモニターを設置し、子どもたちのエネルギーや環境意識を養います(尾駈小学校ホール)



六ヶ所原燃PRセンター/「地球環境とエネルギー」や「放射線」について楽しく遊びながら学べます



東北大学大学院量子エネルギー工学専攻六ヶ所村分室/「高レベル放射性廃棄物の高度分離」「放射性同位元素の高度利用」といった新原子力利用の研究が行われているほか、同大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻の社会人大学院生教育を行っています

六ヶ所村から考えるエネルギーの未来

地域特性を生かしつつ、いかにして新エネルギーを取り入れ、活用していくかを明確にするために、村は地域に潜在する新エネルギーを活用し、環境と調和した地域づくり、地域の持続的発展、地球環境の保全など、快適で便利な生活環境を創出することをめざします。

資源の少ない日本は、もちろん従来の石油エネルギー依存からいち早く脱却しなければなりません。そのためにも、産学官一体となって新エネルギーの開発に取り組んでいく必要があります。その環境が整っている六ヶ所村だからこそ、エネルギーの村の使命として、今後ますます新エネルギーの活用に責任をもって取り組んでいきます。

エネルギーの村を担う、人材の育成

エネルギー関連施設が集積されている村の地域特性を生かし、人材育成が行われています。

東北大学大学院工学部の協力により、村内の小・中学校でエネルギー・科学をテーマにした出前授業が行われているほか、村内中学生に東北大学のオープンキャンパスなどの見学や大学生との交流体験を提供しています。

また、風力発電の事業者が「ウィンドデイ」にちなんだイベントを開催し、村の子どもたちが発電の仕組みや風力発電の仕事を学んでいます。

エネルギーの村の次代を担う子どもたちに、学びの場を積極的に提供しています。

最先端エネルギーを知るために「次世代エネルギーパーク」を見学に行こう！

地球温暖化問題の深刻化や燃料価格の高騰を背景に、太陽光・風力・バイオマスなどの新エネルギーの拡大が急がれています。六ヶ所村では、新エネルギーをはじめとする次世代エネルギーを、多くの人に見て・触れて・理解を深めてもらおうと、エネルギー関連施設をつないで「次世代エネルギーパーク」を運営しています。



見学や体験学習を通して次世代エネルギーの理解を深める。

3つのコンセプト

①体験型情報発信

来場者が次世代エネルギーを実際に見て触れることができる「体験」を通じて理解を深められるパーク。

②旧・今・新のエネルギー

過去や現在、未来のエネルギーについて時代背景やエネルギー構造、その移り変わりをたどりながら、エネルギーの重要性について理解できるパーク。

③自立×協調型の事業運営

各施設は自立性を維持しつつ、情報、来場者へのサービス提供では施設間が密に連携するパーク。

ホームページからお申込みいただけます。



<http://www.rokkasho.jp/6energypark/>

見学ツアーのお申込み方法

1. 見学予約フォームで必要事項を記入し、見学希望日の4週間前までに、インフォメーションセンターへ送信
2. インフォメーションセンターで見学申請の内容を確認し、見学希望の事業所へ問合せ連絡
3. インフォメーションセンターで見学の確認がとれましたら、見学申請者様と事業所に仮予約の連絡
4. 見学申請者様は、仮予約の連絡を受けましたら、一週間以内に事業所へ連絡を入れ、事業所の指示に従い正式予約
5. 事業所で見学申請者様からの正式予約の連絡を受け、見学手続きが終了

センター&パークツアー

エネルギーパークを訪れる人々の窓口となるセンター機能と各施設をつなぐパークツアーを整備・運営します。

先進的風力産業の集積



石油備蓄基地

●むつ小川原国家石油備蓄基地

核融合エネルギー研究開発

●国際核融合エネルギー研究センター

原子燃料サイクル

●六ヶ所原燃PRセンター

放射線安全研究

●(公財)環境科学技術研究所

化石燃料

ウィンドファーム (大規模風力) 発電施設

- 日本風力開発グループ (二又風力開発(株)、六ヶ所村風力開発(株))
- エコ・パワー(株) (むつ小川原ウィンドファーム)
- 睦栄風力発電所

クリーンエネルギー自動車普及

自然エネルギー

太陽光発電

- エネワンソーラーパーク六ヶ所村
- 六趣醸造工房太陽光発電システム
- ユーラス六ヶ所ソーラーパーク

トリジェネレーション

- (株)フローリテックジャパン

バイオマス関連施設

次世代ニュータウン

むつ小川原国家石油備蓄基地 (P22/A-4)

緊急時における石油の安定供給確保を目的に、国家石油備蓄事業の第一号として1983年に操業開始。現在、51基の原油タンクには、我が国の石油消費量の12日分の原油を備蓄しています。



二又風力開発(株)／六ヶ所村二又風力発電所 (P22/B-4)

ヤマセ(北東風)や津軽半島からの西風と、年間を通して風の強い地域特性を活用して、日本風力開発(株)・二又風力開発(株)・吹越台地風力開発(株)の3社を合わせ、大型風車66基により、自然エネルギーの「風」を利用した風力発電が行われています。



六趣醸造工房 太陽光発電システム (P22/B-5)

六ヶ所村の特産品でもある長いもを使った本格焼酎「六趣」を製造する六趣醸造工房でも、2012年4月、敷地内に太陽光発電システムを設置し、運用を開始しました。装置としては、最も生産されている多結晶型太陽電池モジュールを採用。定格出力10kW×2基の合計20kWを発電します。



睦栄風力発電所 (P22/A-5)

睦栄風力発電所は国産の大型風車5基にて運営しています。総発電出力は10,000kWで、村内の全世帯数に相当する約5,000世帯が1年間に消費する電力量を発電しています。風車の周囲では村特産の長芋や、家畜に食べさせる牧草やデントコーンの作付けが行われています。



六ヶ所原燃PRセンター (P22/B-4)

ウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、再処理工場などの「原子燃料サイクル施設」を大きな模型や映像、パネルで分かりやすく紹介するとともに、原子燃料サイクルに関係の深い原子力・放射線のコーナーもあります。



(公財)環境科学技術研究所 (P22/C-4)

「原子力と環境のかかわり」をテーマに、主に放射線や放射性物質の環境中における分布と生物への影響を調査研究しています。得られた情報は地域住民へ公開しています。



エネワンソーラーパーク六ヶ所村 (P22/B-4)

(株)サイザンと、森和エナジー(株)が共同で運営する大規模太陽光発電事業所(メガソーラー)。14,336枚のパネルを設置し、2013年9月から運転開始。年間予測発電量は240万kWhを想定しており、一般家庭650世帯分の年間消費電力に相当します。(太陽光パネルの最低地上高:12m 角度:30度)



ユーラス六ヶ所ソーラーパーク (P22/C-5)

ユーラス六ヶ所ソーラーパーク(11万5,000kW/交流)は六ヶ所村の鷹架地区、千歳平北地区で東京ドーム約50個分に相当する253ヘクタールに、約51万枚の太陽光パネルを設置した大規模太陽光発電所です。現在操業中(※2016年2月時点)の太陽光発電設備の中では国内最大規模で、総発電量は一般家庭の約3万8,000世帯が消費する電力量に相当し、年間約7万トンの二酸化炭素の削減効果が見込まれます。



むつ小川原ウィンドファーム (P22/B-4)

一年を通して風の強い地域の特性を活かし、むつ小川原ウィンドファームでは、風車21基が運転され総発電出力31,500kWを誇っています。年間では約5,800万kWhを発電し、これは標準家庭約16,600世帯分が一年間に消費する電力量に相当します。



国際核融合エネルギー研究センター (P22/B-4)

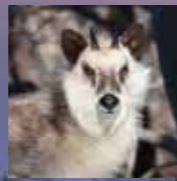
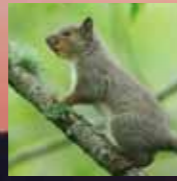
日本と欧州などとの間で核融合エネルギーの開発を目指す「国際共同プロジェクトITER計画」が進められ、日欧による幅広いアプローチ協定に基づき原型炉(ITERの次世代炉)実現に向けた「幅広いアプローチ活動」が行われています。



(株)フローリテックジャパン (P22/C-4)

「トリジェネレーションシステム」によって、2万㎡もの栽培温室で、花き鉢物を生産・販売しています。天然ガスへの切り替えとトリジェネレーションの導入により、年間約900tのCO₂排出量を削減しています。





野生動物撮影
一戸一見氏

生命の息吹に満ちあふれる美しい自然、そこに棲む愛しいものたち。
古来続くこの営みを、私たちは守り育てていかなければならない。

自然

Nature



いっこ庵／そば畑の中にたたずむ藁葺きの水車小屋 (P22/B-4)



鷹架沼の夕景／六ヶ所村の中で1番大きい沼 (P22/B-4)



村の花にもなっているニッコウキスゲ。他にも多種の自生植物が群生している



滝の尻大滝／泊海岸のすぐそばにあり、落差はおよそ6~7m。波と滝の音が重なり、涼しげな風景をつくりだしている (P22/C-1)



六ヶ所村の広大な自然／畜産や林業にもその恩恵をもたらしている



小川原湖とマテ小屋／現在は見られなくなったマテ漁だが、マテ小屋はそのまゝの形で残されている (P22/B-6)



タタミ岩／泊の海岸には、波の浸食が創り出した奇岩が多く見られる (P22/C-1)

自然を守り、そして受け継いでいく

昔から六ヶ所村の人々は、農耕や漁を通して自然を愛し、その恩恵を受けて暮らしてきました。

時代は流れ、人の生活のあり方が変わった今もその想いは受け継がれています。

人間の利便性、近代化だけを追い求めず、共存していくために、世界的にも絶滅のおそれがある動植物を保護し、生息環境を整え、美しい景観を守ってきました。

その結果、六ヶ所村では今も多くの生き物と雄大な自然の姿を見ることができます。

6つの湖沼と太平洋の水景のまち

太平洋に沿って南北に伸びる六ヶ所村には、尾駮沼・鷹架沼・市柳沼・田面木沼・内沼・小川原湖という、実に多くの湖沼が点在しています。尾駮沼、鷹架沼の一部及び小川原湖は淡水と海水が入り交じる汽水湖、また、市柳沼・田面木沼・内沼は淡水湖であることから、それぞれに多様な動植物が生息する希少生物の楽園となっています。

また、泊の海岸にはタタミ岩と呼ばれる奇岩が存在し、その回りでは滝の尻大滝

や、岩の裂け目から突然潮が吹き上がる「ポットアゲ」を見ることができます。

さらに泊の北、物見崎は波の浸食によって形づくられた岬で、その先端に建つ白い灯台は行き交う船の目印となっています。

湖沼群を中心に希少な動植物

湖沼群を中心に、六ヶ所村には珍しい鳥類が生息しています。カンムリカイツブリの繁殖は、1972年に市柳沼で日本で初めて確認されました。ほかにオジロワシ・オオワシ・オオセッカなど、レッドデータブック（絶滅危惧種をまとめた本）に掲載されているものも少なくありません。このほか、産卵のため尾駮沼に遡上する「尾駮ニシン」は、汽水に入るニシンとして全国的に珍しいといわれています。

さらにこの地域では、カワトンボ・イトトンボ・ムカシトンボなど、珍しい昆虫も観察できます。

植物ではニッコウキスゲ・サワギキョウ、エゾミソハギやエゾリンドウなどが咲き、見る人の目を楽しませてくれます。六ヶ所村は北方系と南方系の植物が両方見られるため、学術的にも貴重な場所です。



歴史 History 伝統 Tradition 文化 Culture

歴史、伝統、文化という財産を、誇りとともに未来へ受け継ぐ。
多様な産業の進展と人々の交流が、新しい文化を生み、村を彩る。



●泊例大祭

菅江真澄 肖像画
(秋田県大館市立
中央図書館所蔵)六ヶ所村立郷土館／開館時間AM9:00～PM4:00 Web <http://www.r-kk.com/>
豊かな自然環境に恵まれた六ヶ所村で、先史時代からの多くの遺跡が出土しています。考古・自然・歴史・民俗にわたる常設展示を行っています。
休館日：月曜日・祝祭日の翌日・年末年始12月27日～1月4日 (P22/B-4)菅江真澄「おぶちの牧」
(秋田県立博物館所蔵の写本)
「泊のポットアゲ」
「尾駁のマテ小屋」5
国指定重要有形民俗文化財
「泊のまるきぶね」
(県立郷土館所蔵)鼻曲がり土面(上尾駁遺跡)縄文晩期
※村立郷土館にレプリカあり

地名の由来

六ヶ所村は、明治の町村制施行で六か村が統一して誕生した村です。古来、この地は名馬の産地として知られており、鎌倉時代に「生食(いけづき)」という名馬が、源頼朝の軍馬となりました。

村のそれぞれの地名が馬に由来するという伝記が200年ほど前の文献に残されており、馬の出たところが「出戸(でと)」、身丈が鷹待場の架のようだったので「鷹架(たかほこ)」、背中が沼のように平らだったので「平沼(ひらぬま)」、尾が斑になっているので「尾駁(おぶち)」。さらにその馬に鞍を打ったので「倉内(くらうち)」、鎌倉へ引き渡すために泊まったところが「泊(とまり)」となったと伝えられています。

菅江真澄とおぶちの牧

寛政五年(1793年)の冬、平安中期の後撰和歌集に詠われている「おぶちの牧」を見るため、六ヶ所村を訪れた江戸時代の旅行家・菅江真澄(1754～1829年)。真澄は旧暦の11月30日から、およそ2週間をこの村で過ごし、その自然や人々の様子を歌や絵にし、旅日記を残しています。

まるきぶね

泊地区に現存するまるきぶね(丸木舟)は、昭和30年代まで、アワビやワカメをとるための磯船として使われていました。丸木舟は船底が浅いので風に流されにくく、他の船に比べて作業がしやすかったといわれていることから、先人たちの知恵と工夫がうかがえます。その一隻は国指定重要有形民俗文化財に指定されています。

縄文遺跡

ここ六ヶ所村には富ノ沢遺跡や大石平遺跡など、145ヵ所もの遺跡があります。青森県内でも最大級の集落跡と思われる遺跡、富ノ沢遺跡は4700年前から4000年前にかけて、約500軒からなる大集落であったと考えられています。また、縄文晩期の大石平遺跡からは、集落跡とともに、子供の手形や足形などが発見されています。これらの遺跡は、縄文の暮らしを知る上で大変貴重な資料です。



▲泊神楽会



▲倉内子ども神楽育成会



▲平沼神楽保存会 ▼倉内子ども神楽育成会



▲泊例大祭（流し踊り・消防まとい振り・宵宮・諏訪神社の大漁旗）



▲平沼子供神楽会



▲新山権現保存会

神楽

六ヶ所村には各集落に古くから伝わる神楽があります。大きく分けると太神楽と山伏神楽がありますが、そのなかでも早池峰系や能舞などいくつかの系統に分かれており、集落ごとに違います。神楽は、祭りの日に神社に奉納されるほか、正月には家々を祈祷してまわります。この伝統文化を守るため、村では神楽を無形文化財に指定し、保存会の人々が次の世代へと継承します。

伝統芸能

六ヶ所村では、村の歴史や文化的な資源を保存・継承しています。神楽などの伝統芸能は、泊、出戸、戸鎖、千歳、千歳平、平沼、倉内、中志に伝えられており、各地区の保存会によって守られ、子どもたちへと受け継がれます。

村内各地区の神楽や獅子舞を他の地区の人たちにも知ってもらい、保存会同士の交流を深めるために、毎年冬には民俗芸能発表会が催されます。発表会では、各地区の保存会や子どもたちの舞が披露され、村民に親しまれています。



▲フランス語教室



▲異文化交流フェア



▲アメリカでのホームステイ体験



▲茶道を体験するドイツ・ヴァーレン市の訪問団



▲六ヶ所村と韓国ヤンヤン郡の少年たちのサッカー交流

文化交流

六ヶ所村では、文化交流プラザ「スワニー」や公民館を活用し、外国語教室をはじめ、茶道などだれもが参加できる文化教室を実施しています。また、ふるさとを見つめ直し、地域づくりに役立てるため、講師を招いて講習会「郷土大学」を開催し、村民が村の魅力を再発見し、地域に誇りをもてるよう活動を支援しています。そのほか、スワニーに隣接する村民図書館は、誰でも自由に図書を読覧することができ、その蔵書数は年々増加しています。

国際交流

村では、友好都市であるドイツ・ヴァーレン市や、友好交流を続けている韓国・襄陽（ヤンヤン）郡と文化・ホームステイ・スポーツ交流をしているほか、子どもたちにオーストラリア・アメリカでのホームステイ体験を提供しています。

また、村に居住する外国人研究者や家族との交流も増えており、「国際教育研修センター」を拠点に、フランス語・ドイツ語・韓国語などの語学教室や料理教室、異文化交流フェアなどさまざまなイベントが開催され、多くの村民が交流を楽しんでいます。

六ヶ所村ならではの多様な交流を通して、国際意識の高いグローバルな精神が育まれています。

文化交流プラザ「スワニー」(P22/C-4)

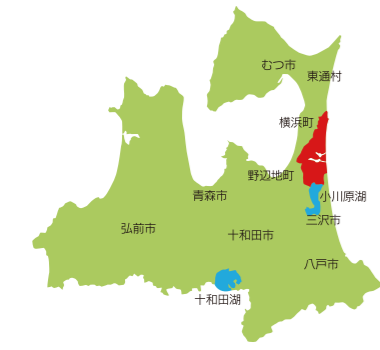
住民の交流や学習のために建てられた複合施設で、研修室や会議室で村の文化団体が活動を行っているほか、スワニーが主催するコーラスや弦楽・英語などの教室があります。音響に配慮された大ホールでは、クラシックコンサートや各種アーティストの公演が開かれています。

また、併設の図書館では49,000冊の図書や3,400点の視聴覚資料を所蔵しており、ゆったりとした開架スペースで閲覧できます。郷土関係の本を収集したり、新着図書の案内を見やすくするなど、村民の要望に応じています。

六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」 www.jomon.ne.jp/~pulaza97/
六ヶ所村民図書館 www.rokkasho-tosho.jp/



美しい自然がいっぱいの六ヶ所村 MAP



▲下北スリーハンドレットゴルフクラブ



▲放牧場



▲シジミ漁 (小川原湖)



▲ワカサギ釣り (小川原湖)



▲小川原湖とマテ小屋

青森県最大の湖。魚種が豊富で「宝湖」と呼ばれており、縄文時代から人々がその恩恵を受け暮らしていました。今でもシジミ漁、シラウオ漁が行われ、地元の人に愛されている湖です。現在は行われなくなったマテ漁に使われていた小屋が残っています。



▲吹越烏帽子岳



▲大石総合運動公園

二又風力開発(株) 六ヶ所村二又風力発電所

エネワンソーラーパーク六ヶ所村

むつ小川原ウインドファーム

陸栄風力発電所



▲物見崎



▲タタミ岩



▲滝の尻大滝



◀尾駱沼

六ヶ所村の中央に位置する沼。一部海に面しているためアサリやカキなどの魚も盛んです。白鳥・カモ・ガンなどの野鳥が生息しています。



◀鷹架沼

防潮水門を境に汽水湖と淡水湖に分かれています。六ヶ所村の沼の中では最も大きく、中央を流しているバイパスから沼が一望できます。白鳥など渡り鳥も生息する沼です。



◀市柳沼

海に面した入り江が、砂によって隔てられてきた沼。淡水湖で希少なフジマリモやシュレーゲルアオガエル、カンムリカイツブリなどの生息が確認されています。また、源五郎ブナ(へらぶな)が釣れるところでも有名です。



◀田面木沼

平沼川が砂丘により閉じ込められた潟湖(ラグーン)です。冬にはワカサギ漁が行われ、釣りに来る人も多く見られます。フジマリモの生息地でもあります。



◀内沼

小川原湖北西部から北に湾のように入り込んだ沼で、淡水湖です。村の中では1番面積が小さく、ウナギ漁が今でも行われています。



■車		■東北自動車道	
六ヶ所～青森	1時間40分	八戸～盛岡	1時間30分
六ヶ所～野辺地	40分	八戸～仙台	3時間30分
六ヶ所～七戸	60分		
六ヶ所～三沢	50分		
六ヶ所～八戸	1時間20分		
■バス		■東北新幹線	
六ヶ所村役場～野辺地駅	1時間	七戸十和田～東京	3時間10分
六ヶ所泊車庫～むつターミナル	1時間30分	七戸十和田～仙台	1時間30分
六ヶ所平沼遊覧～三沢駅	1時間		
■電車			
野辺地～八戸	45分		
野辺地～青森	45分		

ホテル			
【名称】	【地区】	【収容人数】	【連絡先】
しょうや六ヶ所店	尾駱	52人	☎0175(72)4488
ホテル市原クラブ六ヶ所店	尾駱	120人	☎0175(72)3312
ホームイン六ヶ所	尾駱	80人	☎0175(72)2881
ビジネスホテルリッチ	尾駱	42人	☎0175(72)2333

民宿			
【名称】	【地区】	【収容人数】	【連絡先】
うえの	泊	40人	☎0175(77)2472
弁天荘	泊	20人	☎0175(77)2142
みどり	尾駱	13人	☎0175(72)2777

タクシー	
泊観光タクシー(泊)	☎0175(77)2270
泊観光タクシー尾駱営業所(尾駱)	☎0175(72)2224
縦貫タクシー尾駱営業所(尾駱)	☎0175(72)2339
三八五タクシー六ヶ所営業所(尾駱)	☎0175(72)4455
十和田タクシー尾駱営業所(尾駱)	☎0175(72)4440
大空タクシー六ヶ所営業所(尾駱)	☎0175(73)8573

レンタカー	
いやさか自動車(株)尾駱店(尾駱)	☎0175(72)3434
トヨタレンタリース野辺地営業所(野辺地町)	☎0175(64)0100
駅レンタカー七戸十和田営業所(七戸町)	☎0176(62)5150

自然豊かな六ヶ所村でゆとりある暮らしを実現しませんか。

(P22/C-4)

「尾駮レイクタウン北地区」分譲のご案内



▲おぶちこども園



▲尾駮小学校



▲六ヶ所村医療センター

『尾駮レイクタウン北地区』は、六ヶ所村の中央部にある宅地分譲地です。同分譲地の徒歩圏内には、おぶちこども園、尾駮小学校、第一中学校、六ヶ所村医療センター、ショッピングセンター「REEV」、文化交流プラザ「スワニー」(図書館併設)などさまざまな施設があります。

宅地を購入し住宅を建築される方には、*1『宅地購入助成』、*2『建築助成』など各種助成制度があるほか、住民の皆さんの子育て応援のため「子宝祝金支給」や「未来に続く健やか子育て支援事業」、「村内小・中学校の児童生徒の給食費無料化」、「村内小・中学校入学祝金給付事業」など各種事業を実施しています。

自然豊かな六ヶ所村で、ゆとりの暮らしを実現してください。

- *1 ①宅地購入助成
3,800円/㎡×宅地面積
 - *2 ②住宅建築助成
7,500円/㎡×延床面積(上限150万円)
- 分譲地の概要や各種助成制度の詳細については、六ヶ所村ホームページをご覧ください
Web <http://www.rokkasho.jp/>
(トップページ→「ライフイベント」→「住居・引越し」ページ内)

■分譲地の種類
事務所用地、戸建住宅用地、集合住宅用地、戸建・商業用地

■問い合わせ先
六ヶ所村役場 企画調整課
TEL.0175-72-2111 (代) FAX.0175-72-2743



▲第一中学校



▲ねむの木公園(尾駮レイクタウン北3号公園)

産業

先端産業に取り組む六ヶ所村だから、人間の営みの基本となる第一次産業を真剣に考えます。自然との共生を大事にし、技術や設備で効率化を図り、生産から加工・販売までの一体化を目指します。六次産業化による製品の付加価値づくりと村民の所得向上に取り組んでいます。



I love Rokkasho





農業・畜産

先人の切り拓いた土地と
 広大な自然は、農業や畜産に
 その恩恵をもたらしています。

1

ヤマセ（偏東風）の影響を受ける六ヶ所村では、長いもなど、冷害に強い作物の栽培に取り組んできました。土壌や気候が根菜類に適していることもあり、いも類のほか、ゴボウや大根、にんじんなどが生産されています。六ヶ所村南側の地域では稲作も行われていますが、転作奨励の影響で水田面積は減少傾向にあります。

青森県が、出荷量・作付面積ともに全国一を誇る長いもは、六ヶ所村の特産品でもあります。生産された長いもは、全国各地に出荷されているほか、村内の工場でお菓子や焼酎などに加工され、人気を博しています。

昔から名馬の産地として知られるこの地方では、畜産業が盛んに営まれ、豊富な草資源を生かして県内最大の酪農地帯が形成されており、その豊かな自然の中でのびのびと育った牛は、わたしたちに良質な栄養を与えてくれます。

1 長いも畑 2 大根畑 3 乳牛の放牧 4 乳牛の自動搾乳機 5 にんじん畑 6 7 長芋洗浄選別・貯蔵施設



5

6

7



漁業

獲る漁業から育てる漁業へ。
 六ヶ所村は海の恵みを次の世代へと
 つないでいきます。

1

暖流と寒流が交わる六ヶ所近海は、魚介類の宝庫です。夏から秋にかけてはスルメイカ、サバなどが水揚げされるほか、冬にはサケ、ヤリイカ漁で賑わいます。また、六ヶ所村は沼や川を有するため、サケやマス、ウグイなど、海から川・沼へ回遊する魚もいます。高瀬川、小川原湖ではシジミ漁やワカサギ漁が行われています。

泊地区の磯浜では上質なウニ、アワビが収穫されるほか、昆布やわかめ、ふのりなどの海藻類も豊富です。さらに次の世代へつなぐため、シジミの稚貝を放流したり、ウニやアワビの種苗を育成するなど、「育てる漁業」も展開しています。



1 泊漁港 2 製氷施設から漁船へ直に氷を積む 3 魚を荷揚げし、これから出荷 4 小川原湖の寒シジミ漁 5 昆布の天然干しの風景 6 初夏から夏の間、解禁日に行われるウニ漁 7 刺網漁で獲れた魚の選別作業（尾駁漁港）

2

3

4

5

6

7



商工業

一次産業が支えてきた村は、
商工業との融合により、
新しい流れを生み出しています。

村内の各企業は、地域に根ざした足腰の強い商工業をめざしています。尾駮レイクタウンには、村民の利便性を考え開設されたショッピングモール「リープ」があります。村内には、特産品である長いもを加工する工場もあり、イカやサケ、ヒラメなどを使用した商品も増えたことで、より多くの人に六ヶ所村の自然の恵みを味わってもらうことができました。

また、青森県内外からの企業の工場立地を受け入れることで、周辺地域の雇用の拡大と企業の発展に貢献しています。



①ショッピングモール「リープ」②天然ガスからの電気、熱のほかCO₂も有効活用（トリジェネレーション）した花き栽培（㈱フローリテックジャパン）③村内各地で開かれるふるさと新鮮朝市。新鮮な農海産物が並ぶ④永木精機㈱⑤青森宝栄工業㈱⑥六ヶ所の冷涼な気候を活用したデータセンター（青い森クラウドベース㈱）



暮らし

下水道・浄化槽施設、診療所、健康施設や、自然災害にも十分に配慮されたインフラの整備が進んでいます。
さらに福祉や教育、国際交流などを充実させて暮らしにゆとりと安らぎを実感できるまちづくりを目指しています。



I love Rokkasho

教育

子どもたちが健全に成長する環境を確立します。また、一人一人の個性を大事にし、郷土を愛する心をもてる人材の育成を目指します。

村内のいずれの地域においても質の高い義務教育が受けられるよう、教育環境を整備します。また、村民が地域により一層の愛着をもち、生き生きと交流できる環境をつくっていきます。

教育充実・強化

学校教育の基礎を培うために、保育所、小学校、家庭、地域が連携して就学前教育の充実に努めるとともに幼児教育環境づくりをめざしています。また、児童・生徒数が減少した小中学校の統廃合に取り組み、望ましい学校運営と教育効果を高めることに努めています。

さらに、今まで以上に家庭教育が重要となってくることから、学校、家庭、地域社会の連携を一層強化していきます。

生涯学習

村民が、六ヶ所村を知るため、村の歴史、文化、産業等各種学習機会の充実を図り、村民の学習意欲の向上に努めています。また、高齢者が生き甲斐のある人生を送ることができるよう世代間交流活動、シルバーセミナー等の充実を図ります。

生活・文化面のみならず、政治経済、健康福祉等の各種講演会・フォーラム等を開催し、村民の学習意識を引き出す取り組みを積極的に進めていきます。

未来を担う人材の育成

六ヶ所村に立地する研究・産業施設が安定的に人材を確保できるように、村内出身者を中心として、専門的技術を学ぶ機会を確保します。また、地域社会の身近な活動を担っていくことができる人材の育成と確保に努めます。

コミュニティ活動、ボランティア活動等に自発的に連帯意識をもって村民が参加していくために、ボランティア情報の提供、地域に密着したサークル活動等への参加啓発、助言等を行っています。また、生涯学習、福祉等の幅広い分野での地域活動のリーダーやボランティアの発掘に努め、その育成支援を図ります。



Education



健康・福祉

住民の暮らしと健康を守る、福祉と医療の提供に努めます。また、村民が健やかに暮らせるよう、きめ細やかに愛情をもって対応します。

健康づくり推進

健康づくりを推進する六ヶ所村では、これまで村内の整備されてきた各種施設を有効活用しながら、健康診断や健康相談のほか、食や栄養を考える集いなどを開催し、身近な活動から健康を考える機会を提供しています。

広域的な医療体制の充実

住民が安心して医療を受けられるよう村内の診療所の充実に努めるとともに、村外の医療機関との連携強化を通じて、高度医療や救急医療の受診のための機能の維持と充実に努めています。診療所は、尾駈、千歳平と泊の3地区にあります。

尾駈地区にある「六ヶ所村地域家庭医療センター」の病床数は19、MRIなどの検査機器も充実しており、定期・特殊検診などが受けられます。また、患者の救急搬送のため、隣接地にヘリポートを整備しています。

介護サービスと地域福祉

高齢化の進展に伴い介護サービス需要の増加に対応するため、現在ある施設のサービス内容の充実に努め、有効活用を図るほか、在宅による介護サービスや介護予防対策を講じています。

老人介護を目的とする施設として、デイサービスセンターと在宅介護支援センターが併設された特別養護老人ホーム「ぼんてん荘」と、介護支援、居住機能と交流機能を併せ持つ「高齢者生活福祉センター」があります。また、温泉を活用してつくった老人福祉施設「老人福祉センター」では、巡回バスにより、この温泉まで各地域の高齢者を送迎しています。

「かけはし寮」は、障がい者が地域社会とともに暮らせるよう、橋渡しすることをめざしてつくられた、知的障がい者の支援施設で、シクラメンやネギの生産、ジャムやお菓子の製造もっており、好評です。



Health
Welfare



安全

防災体制の強化及び防災意識の向上を目指します。地域の安全を守り、村民の平和な暮らしを維持します。

地震や風水害、津波、雪害等の自然災害に対応するために防災体制の充実を図り、「六ヶ所村地域防災計画」に基づいた情報伝達や避難誘導の的確な対応を検討、改善していきます。

また、広報紙などを通じて、住民へ防災に関する基礎的な知識の普及を図るとともに、住民参加による一般防災訓練を実施しているほか、原子力防災についても、「災害対策本部の設置運営訓練」、「緊急時被ばく医療訓練」などの訓練を、国、県、防災関連機関および原子力事業者と一体となって実施しています。

消防・警察

尾駈地区には六ヶ所消防署が、平沼地区には分署があります。火災や地震等から人命や財産を守るために、消防体制の充実を図るとともに住民の防火・防災意識の啓発に取り組み、火災や災害による住民の被害を最小限にとどめることをめざします。

また、尾駈地区には交番が、平沼地区と千歳平地区には駐在所があります。交通事故防止を図るため、交通マナーの呼びかけと、交通パトロールを実施するほか、家庭や職場に密着した広報活動の実施などを行い、交通安全意識の向上を図ります。

住民意識の向上

火災予防運動の推進、研修会の実施等の取り組みを定期的に行います。また、消防体制の強化を図るため、消防設備の計画的更新・拡充、消防団員の資質向上のための教育訓練の充実、消防団活動の普及啓蒙並びに行政と常備消防の連携強化に取り組みます。

防犯体制の強化と交通安全

全国的に多様かつ深刻な犯罪が増加しているなか、住民と行政が一体となって地域社会における犯罪の抑止を図ります。また、経済活動の活発化に伴う交通量の増加に向けて、今後も交通安全への取り組みを強化していきます。



Security



行政・議会

ガラス張りの行政運営を目指し、村が行う各種事業の進捗や財政状況などの情報をホームページや広報紙で公開しています。

自主的・自立的な財政運営

歳入・歳出の長期的な見通しに基づいて、健全な財政運営を行います。企業立地の促進や、それに伴う税収により歳入の安定を図るとともに、今後大きな歳出が予想される事業を中心に、必要性や投資効率の見直しを行い、積極的に経費節減と合理化を図ります。

新たな行政改革の推進

従来の組織にとらわれず、効果的に事務事業を処理でき、なおかつ住民の要望に素早く対応できる組織の改革を行います。また、分権社会の担い手にふさわしい人材の育成に努めます。

行政情報の公開と住民参画

六ヶ所村が運営するホームページや広報紙等で、村が行う各種事業等の状況や、財政状況に関する情報を積極的に公開します。また、まちづくりや地域振興において、村民の意見交換の場を設け、村民ニーズの把握に努めます。

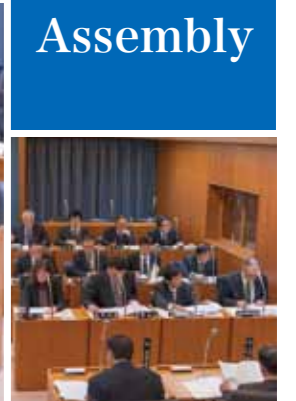
議会

村議会は現在18名の議員によって運営されています。本会議は年4回の定例会のほかに、必要に応じて臨時会が開かれ、出された議案などについて審議します。また、村民から提出された陳情などを専門的な立場で審議を進めるのが「総務企画」「産業建設」「福祉教育」の常任委員会があり、議員はいずれかの常任委員会に所属します。

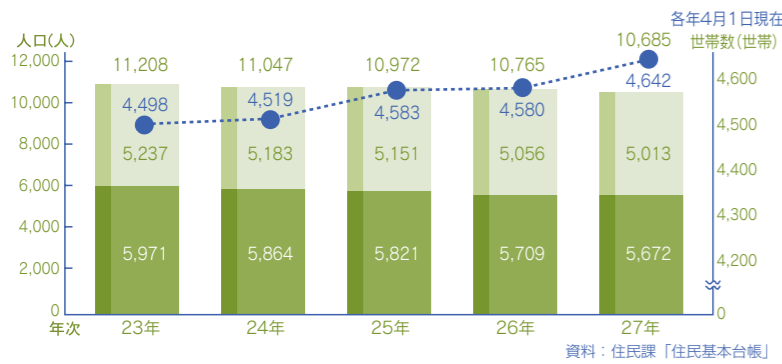
また、「むつ小川原開発」や「原子燃料サイクル事業」などに関連し、地域振興や立地企業の安全対策などを調査する特別委員会が設置されています。



Administration
Assembly



人口 人口と世帯の推移



村民生活 一人当たり村民所得

年次	1人当たり村民所得(千円)		1人当たり所得比率(%)
	村	県	
20年	9,531	2,248	423.9
21年	10,873	2,260	481.2
22年	12,355	2,333	529.5
23年	12,328	2,353	523.8
24年	13,671	2,422	564.5

資料：平成24年度市町村村民経済計算

行政 歴代村長一覧

氏名	就任期間
初代 工藤 壽平	明治22. 5.15~明治25. 5.14
2 渡部 政之助	明治25. 5.15~明治29. 5.14
3~4 菅 保次郎	明治29. 5.15~明治37.10. 1
5 高田 達也	明治37.10. 2~明治41.10. 1
6~7 渡部 泰敏	明治41.10.10~大正 4.10. 6
8 笠尾 善太郎	大正 5. 6.20~大正 9. 6.19
9 高橋 毅郎	大正10. 1.25~大正11. 2.17
10 高村 太助	大正12. 5.15~大正13. 3.21
11~12 高田 達也	大正13. 4. 5~昭和 7. 4. 4
13 高村 太助	昭和 7. 4. 5~昭和11. 4. 4
14 米田 興太郎	昭和11. 4. 5~昭和15. 4. 4
15 南 安太郎	昭和15. 4.17~昭和19. 4. 4
16 福田 富雄	昭和19. 4.17~昭和21. 1. 6
17 橋本 勝太郎	昭和21. 1. 7~昭和21.10.30
18~20 佐々木 高壽	昭和22. 4. 6~昭和34. 5. 2
21~22 沼田 正	昭和34. 5. 3~昭和41.12. 4
23 種市 栄太郎	昭和42. 1.11~昭和44.11.17
24 寺下 力三郎	昭和44.12.21~昭和48.12.19
25~28 古川 伊勢松	昭和48.12.20~平成元.12.19
29~30 土田 浩	平成元.12.20~平成 9.12.19
31~32 橋本 寿	平成 9.12.20~平成14. 5.18
33~35 古川 健治	平成14. 7. 7~平成26. 7. 6
36 戸田 衛	平成26. 7. 7~

財政 一般会計決算額



気象 気象概況

年次	気温(℃)					風速(m/s)平均	降水量(mm)			日照時間(時間数)
	平均	最高	最低	最高	最低		総量	最大日量	月日	
23年	9.4	13.4	5.8	34.2	-10.5	1.9	1,366.0	72.5	9月21日	1,602.4
24年	9.1	12.9	5.9	33.7	-12.6	1.8	1,277.5	81.5	7月16日	1,511.6
25年	9.2	13.1	5.8	32.7	-10.0	1.7	1,435.0	118.5	8月31日	1,459.2
26年	9.2	13.5	5.5	32.7	-11.6	1.5	1,420.0	95.5	8月 6日	1,751.2
27年	10.1	14.2	6.5	31.9	-9.3	1.6	1,179.0	47.5	9月11日	1,638.1

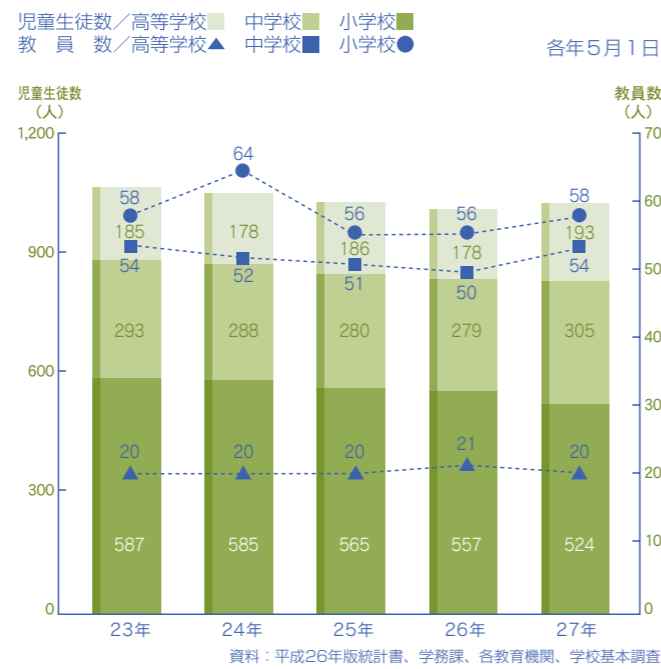
資料：国土交通省 気象庁

農作物 農作物の作付面積および収穫量

区分	22年	23年	24年	25年	26年	
水稲	作付面積(ha)	122	119	114	109	101
	10a当収量(kg)	525	534	530	509	544
	収穫量(t)	641	635	604	555	549
豆类	作付面積(ha)	-	(大豆)2	(大豆)1	(大豆)1	×
	収穫量(t)	-	(大豆)2	(大豆)1	(大豆)1	×
麦類	作付面積(ha)	-	-	-	-	-
	収穫量(t)	-	-	-	-	-
飼料作物	作付面積(ha)	-	-	-	-	-
	収穫量(t)	-	-	-	-	-
野菜類	作付面積(ha)	-	304	285	294	278
	収穫量(t)	-	11,564	9,322	9,783	9,530

資料：農作物統計、園芸作物統計、野菜・果樹統計

教育 児童生徒数および教員数



文化 六ヶ所村の文化財

名称	指定区分	指定年月日	数量	所有者・代表者	集落
泊のまるきぶね	国指定重要有形民俗文化財	1963(昭和38年).5.15	1隻	県立郷土館	泊
	大正12(1923)年頃、泊の三角久松氏が戸の棚沢山のブナの木で作らせた。本州太平洋岸の丸木舟としては最北。				
大石平遺跡出土品	国指定重要文化財(考古資料)	1995(昭和7年).6.15	一括(198個)	青森県埋蔵文化財調査センター	大石平
	縄文後期の集落とともに巨大木柱跡が発見された遺跡。赤漆切断彩色壺型蓋付土器や手形・足形付製品。				
オジロワシ	国指定天然記念物(動物)	1970(昭和45年).1.23	—	—	地域を定めずに指定
	湖や川岸・森に生息し、小川原湖や湖沼群のウグイなどを餌にする。尾駁沼に最も多く、湖沼群全体の個体数はおよそ20。村の鳥。				
小川原湖のハクチョウ	県指定天然記念物(動物)	1972(昭和47年).12.5	—	—	小川原湖北端
	小川原湖にはオオハクチョウ・コハクチョウの両種が飛来する。カムチャッカから来るものと、サハリンから来るものがある。				
貴宝の神楽舞	村指定無形文化財(芸能)	1974(昭和49年).3.29	—	辻浦英朗	泊
	貴宝山神社の神事で舞われる神楽。舞い手・舞い・楽は「諏訪の神楽」と同じ「泊神楽」。獅子神楽のうち太神楽に分類される。				
諏訪の神楽舞	村指定無形文化財(芸能)	1974(昭和49年).3.29	—	辻浦英朗	泊
	諏訪神社の神事で舞われる。舞い手・舞い・楽は「貴宝の神楽」と同じ「泊神楽」。獅子神楽のうち太神楽に分類される。				
新山権現	村指定無形文化財(芸能)	1985(昭和60年).12.21	—	佐藤石五郎	千歳平・新城平
	大正5年に甲地(現東北町)より置った新納屋集落の獅子舞が、むつ小川原開発に伴う集団移転で名称を変え復活したもの。				
大乗寺のいちい	村指定天然記念物(樹木)	1974(昭和49年).3.29	1本	大乗寺	泊
	樹齢300年を超える古木で、落雷により枝が損傷しているが、その緑は絶えることがない。				
千歳中学校のしなの木	村指定天然記念物(樹木)	1974(昭和49年).3.29	2本	千歳中学校	千歳
	指定所には「3本」と記載されているが、1本は外見上は2本でも根本でつながっている巨木。「菩提樹」と呼ばれ親しまれている。				
能登七右衛門文書	村指定有形文化財(古文書)	1974(昭和49年).3.29	9件	能登鉄太郎	泊
	宝暦4(1754)年、七戸代官所が泊港で取引される諸品の役銭を定めたもの。当時の上方との物流の様子がわかる。				
秋忠文書	村指定有形文化財(古文書)	1979(昭和54年).3.12	2件	種市忠敏	泊
	貴宝山をめぐる縁起や霊場争いの顛末などについて記されたもの。豊かなヒバ山をめぐる文書もある。				
木村文書	村指定有形文化財(古文書)	1979(昭和54年).5.30	1件	木村毅	倉内
	寛文12(1672)年に有戸の御守別当となった木村家に伝わる文書。各集落の地名の由来についての言い伝えも書かれている。				

資料：社会教育課

漁業 魚種別漁獲量(属地)

区分	22年	23年	24年	25年	26年
魚類	656.0	916.9	792.0	772.7	940.4
さば、ぶり、さけ等					
貝類	0.5	0.6	1.1	0.3	0.0
あわび、ほっきがい等					
その他の水産動物	2605.3	3080.0	3071.1	2110.8	2098.2
するめいか、やりいか、たこ等					
藻類	128.1	149.7	464.3	0.0	0.0
こんぶ等					
漁獲量	3389.9	4147.2	4328.5	2883.8	3038.6

資料：青森県海面漁業に関する調査報告書

心癒される風景とエネルギーの学びの場 六ヶ所村へ、ぜひお越しください



南北33km、東西14kmの広大な大地、そして多彩な表情をもつ5つの沼。北方から飛来する白鳥などの渡り鳥や、樹木、花々が四季折々に景色に色を加えます。

雄大な吹越烏帽子の麓、なだらかに広がる草原では、乳牛がのんびりと草を食み、風車や太陽光などのエネルギー施設が、自然に風景に溶け込んでいます。

このおおらかな風景は、私自身も心癒されるものであるとともに、豊かな自然をまもり育てつつ、再生可能エネルギーなど自然に優しいエネルギーの先進技術を活かした産業創出を目指す、六ヶ所村の象徴的な風景でもあります。

各種エネルギー産業や研究施設が集積する六ヶ所村は「エネルギーの村」としての顔をもつ一方で、農業、酪農業、漁業などの一次産業も盛んな村です。

農業は長いも、ゴボウなどのヤマセ（偏東風）に強い根菜類が主力品種として生産されており、戦後開拓により始まった酪農は県内最大の酪農地帯を形成するまでになりました。漁業では、小川原湖周辺でとれるシジミや天然ウナギ、太平洋ではイカやサケ漁のほか、ウニ・アワビなど希少価値の高い魚介類も収穫されており、どれも人気の高い特産物となっています。また、これら特産物を味わえる多彩なイベントも開催されています。

六ヶ所村には、原子燃料サイクル施設、核融合エネルギーの研究施設や風力・太陽光エネルギーなどが集積する、他に類を見ないエネルギーの学びの場があります。

そして、海・山・川・湖沼に囲まれた雄大で美しい自然、自然の恵みと生産者の愛情が込められた特産物があります。

ぜひご来村いただき、村の魅力を感じてください。
皆さまのお越しをお待ちしております。

六ヶ所村長 戸田 衛

村民憲章

わたしたちは、恵まれた自然とたゆみない努力を続けてきた祖先の心を受けつぎ、郷土がますます発展することを願い、産業と科学・文化が共栄する新しい郷土をめざし、力をあわせて実践するためここに村民憲章をさだめます。
(昭和55年11月3日制定) (平成17年11月3日改訂)

- 一、わたしたちは、太平洋のような広い心を持ち、人間愛に満ちた村民になります。
- 一、わたしたちは、小川原湖のような大きな希望を持ち、進んで協力する村民になります。
- 一、わたしたちは、貴宝山のような気高さを持ち、心身ともに健全な村民になります。
- 一、わたしたちは、老部川のような清い心を持ち、親切で礼儀正しい村民になります。
- 一、わたしたちは、七鞍平のようなおおらかな心を持ち、郷土を愛する村民になります。



村章

六ヶ所村の六の字を図案化したもので、上部には躍進発展を、下部の二線は村民の協和を力強く表現した。
(昭和41年2月制定)



■ 村の鳥：オジロワシ



■ 村の木：黒松



■ 村の花：ニッコウキスゲ